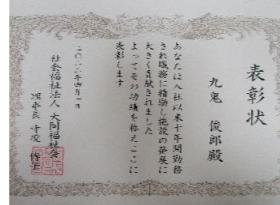
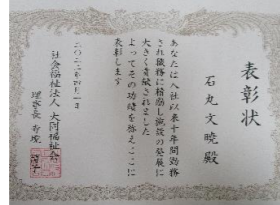
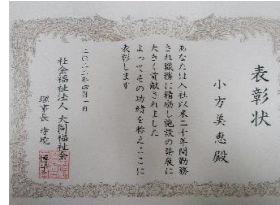


永年勤続表彰

今年度勤続20年を迎えた職員が1名、10年を迎えた職員が2名います。



職員が永く働きやすい職場は質の高い介護を提供することへと繋がっていると思っています。これからも多くの職員が勤続10年、20年を迎えられるような職場にしていきたいです。

苦情窓口案内

施設に対するご意見、ご要望は、相談員までお気軽にご連絡ください。

相談員・・・平野、小方
電話：052-217-8715

また、外部の連絡先として以下の窓口もあります。ご参考にしてください。

- ・愛知県国民健康保険団体
介護サービスに関する相談
電話 052-971-4165
- ・名古屋市
健康福祉局高齢福祉部介護保険課指導係
電話 052-972-2592

職員コラム

今年の4月1日で勤続20年を迎え永年勤続表彰をいただきました。一緒に働いてきた職員の皆様に助けられ、入居者の皆様の笑顔に支えられこんなに長く勤められたことに感謝の気持ちでいっぱいです。改めて振り返ると、ゆうあいの里大同のスタートから関わらせていただき、毎日一人二人と新しい方を迎えご家族の面会もありにぎやかになっていった時のことを思い出しました。コロナ禍も3年目を迎え、まだまだ思うようにならない日々が続いておりますが、これからも初心を忘れず、ご家族・入居者の皆様に安心して笑顔で過ごしていただけるよう精いっぱい努力を続けてまいります。

編集後記

皆さんは桜の名前の由来をご存じですか？ 説は幾つかあるのですが、その中の1つに、桜は意味的に「サ」と「クラ」に分けられ、「サ」は田の神様のこと、「クラ」は神様が鎮座する場所を意味するという説があります。つまり桜は古代では田の神様が宿る神聖な木だったのです。というも、桜の開花と田植えに適した時期が一致するため、古代では桜の開花が田植えの合図になっていました。なので、桜の花が咲くことは田の神様が山から降りてきて田植えの時期だと告げることだったのです。今は気象観測技術の発達により桜の開花を田植えの合図にする必要はありませんが、現代でも桜の開花時期は「開花予報」があるくらい人々の関心ごとですし、桜の開花は本格的に春になったことを教えてくれます。そう思うと、桜は古代から現代まで人々の生活に根付く大切な存在であることは変わらないですね。

そんなことを考えながら桜を見上げ、このゆうあい通信も、そんな桜のように「もうすぐゆうあい通信が来る時期だな」と楽しみにしていただける広報誌になるよう努力していこうと思いました。



ゆうあい通信 2022年4月(第24号)

編集・発行 社会福祉法人 大同福祉会 特別養護老人ホームゆうあいの里大同

〒457-8512 名古屋市南区白水町20番地 TEL052-612-3030(代表) FAX052-612-3076

ゆうあい通信

2022年4月 (第二十四号)



【理念】
人の心を大切にし、
皆様に安らぎと感動を提供することが、
私たちの使命です。

- 【基本方針】
- ・利用者様の尊厳を守ります。
 - ・安全を最優先します。
 - ・質の高い介護サービスを提供します。
 - ・地域社会に貢献します。

新年度の挨拶

若草の萌え立つ季節となりました。普段は、入学式や入社式が執り行われ、活気あふれる時期です。私も去る3月1日に「ゆうあいの里大同」に入職いたしました。これまで約30年間医療の世界で働いてきましたが、縁あって社会福祉の世界に身を置くこととなりました。新しい仕事に対する楽しみと緊張が続く毎日です。福祉施設で働くことは、「ご利用して頂いている人が、人らしくより豊かに生きる。」ことへの、お手伝いだと思います。お役に立つ様、頑張ります。よろしくお願い申し上げます。

さて、コロナ禍が収束する気配が見えぬ中、新年度を迎えることとなりました。感染防止のために様々な制約がある日常生活の中で、皆さま、ご苦労されていると察し申し上げます。

当施設は、入居者の皆様やご家族様そして地域の皆様のご協力によりコロナ患者発生をゼロに抑え、今日に至っております。2022年度も感染予防に万全を期し、入居者の皆様の安全を最優先にした運営に努めます。

また、入居者の皆様の施設での日常が豊かになるよう、職員ひとり一人が能力の向上に努め、全体の質の向上を図り、これまでよりさらに進化した「入居者の皆様から喜んでもらえる施設」の実現を目指して参ります。

業務執行理事・副施設長 黒滝 祥子



感染対策に万全を期して面会を再開いたします。

- ◆場所: 正面玄関横ガラス越し又は気候の良い日は玄関外で(状況に応じて)
- ◆人数: 密にならない数
- ◆時間: 13:00～、13:20～、13:40～ ◆10分以内
- ◆申込: 予約制 TEL052-217-8715 相談員まで
- ◆月に1回

看護科の今年度の取組

高齢者に多い疾患として誤嚥性肺炎、尿路感染症、便秘症が挙げられます。昨年度は尿路感染症の予防に重点を置き、オムツ交換時の陰部洗浄の手順や手技の確認を行い、職員一人一人の技術アップを行ってきました。尿路感染の予防には水分摂取も重要です。高齢者は喉の渇きに鈍感になり、水分摂取量が低下しがちですが、水分制限のない方には食事以外にも、午前・午後に好みの飲み物をお聞きし、水分摂取を促しています。

今年度は便秘対策に重点を置き取り組みます。便秘の対策には様々なものがあり、先ほどの水分摂取も対策の一つですが、決まった時間にトイレに座ることで、自然な排便につながる場合があります。まずは、職員で力を合わせ出来る限りトイレで排便が出来るような働きかけを行っていきたくと考えています。



介護科の今年度の取組

介護科の今年度の目標は「入居者一人ひとりに向けた支援・サービスの質の向上」です。コロナ感染対策として昨年も外部のボランティアを招いての行事イベントや集団でのレクリエーションを中止し、入居者にとって余暇活動の楽しみが少なくなり私たち介護スタッフも残念に思っています。少しでも入居者が笑顔になれるケアを目指して、「コロナ禍だからこそ密を避けても楽しめる個別でのレクリエーションや少人数でも楽

しめる行事」を企画してまいります。4月からは散歩などの外出も企画します。コロナとは今後とも向き合っていかなければなりません、入居者の体調と安全を最優先しながら毎日が有意義に過ごせる環境作りにも力を入れていきます。



相談支援課の今年度の取組

新型コロナウイルス感染防止のため、ご家族が来館していただいていたケースカンファレンスを控えてきました。このことで、ご家族と施設とのコミュニケーションの場も減っていました。しかし、これからはアフターコロナ、ウィズコロナと呼ばれる時期なると思われれます。その為、感染防止に配慮しつつ、ケースカンファレンスを再開したいと考えています。

ケースカンファレンスは、入居者の今後のサービスについてご家族と話し合う重要な場です。ケースカンファレンス開催のご案内をした際は、ご出席していただきますようお願いいたします。



栄養科の今年度の取組

今年度の栄養科は「どんな時でも楽しめるイベントの開催」と、「美味しい食事の提供」に力を入れて取り組みます。毎年イベントの回数を増やしていますが、コロナの感染拡大状況により入居者と一緒に料理を作るレクリエーションはあまり実施出来ていません。手を動かすことや、考えながら作るによりリハビリや認知症の予防にもつながります。

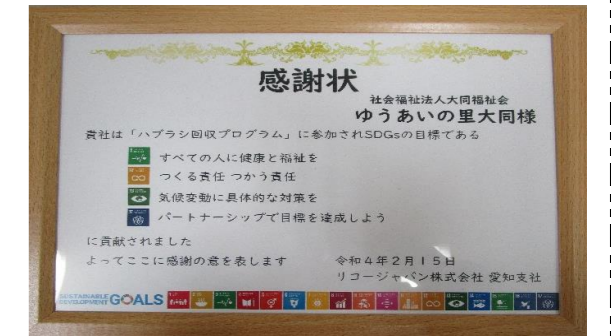
コロナ禍でも密にならずに楽しめる新しい形を模索していきたくと考えています。食事は入居者にとって身近なものです。初心に戻り、皆さんに心から「美味しい！」と言ってもらえる食事を提供出来るように味付けはもちろん、食べやすい食事の形態の見直しなど小さな工夫をこつこつと積み重ねていきたいです。



SDGsへの取組

SDGsとは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のことです。貧困や環境問題など世界の様々な課題を解決すべく、17の目標があります。当施設では以前からごみ削減のためにペーパーレス化に取り組んできましたが、他にも何かできる取組はないか探し、「ハブラシ回収プログラム」に参加することを決めました。当施設では毎日約100人の入居者に歯ブラシを使います。効果的な口腔ケアのためには、定期的な交換が必要です。今までは交換時に捨てていた歯ブラシを、今は資源として回収してもらっています。更に、施設内で使う歯ブラシだけではなく、職員へも呼びかけて家庭で使った歯ブラシも同様に回収しています。

その取組に対して、「ハブラシ回収プログラム」に共に取り組んでいるリコージャパン株式会社様より感謝状を頂きました。



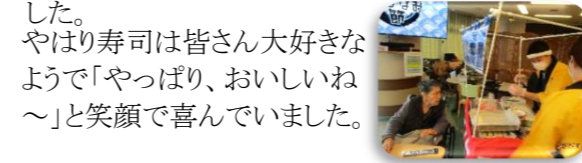
1月～4月の行事風景



寒さに負けない楽しいイベントを今年も開催しました

1月 握り寿司 白玉ぜんざい

1月31日料理イベントにて初めての企画「握り寿司」を行いました。寿司職人は当日、板前に扮した介護スタッフが行いました。その場で新鮮なサーモンやエビ・マグロなどのネタを握りました。やはり寿司は皆さん大好きなようで「やっぱり、おいしいね～」と笑顔で喜んでいました。



2月 節分イベント 2月3日節分の日には職員が赤鬼、青鬼に扮して登場！コロナ感染防止の為、密にならないよう居室を周りました。豆の代わりにボールを投げて「福は内～鬼は外～」と叫びながら豆まきを楽しみました。



3月 ひな祭り



今年も玄関ホールに雛人形を飾り、入居者も1階までお雛様を見に来られ一緒に写真を撮りました。3月3日の昼食では、ちらし寿司(左写真)を美味しくいただきました。

4月 桜見物



今年度は大同大学の桜を観に散歩に出かけました。当日は桜満開で天気も良く、密にならないよう順番に少人数ずつで散歩を楽しみました。

日常のレクリエーション



さまざまなレクリエーション(リハビリ)を行っています。ここでいくつかご紹介いたします。



料理イベントの様子

料理イベントでは毎月おやつ感覚で入居者から人気のあるおやつ(クレープやみたらし団子・あんぱん)を手作りし、午後に皆さんで召し上がっています。



回想法の様子

回想法は昔の懐かしい映像などをテレビで映して入居者同士で語り合います。脳の活性化や認知症予防にも効果的と言われていています。